

令和5年度 秋田県立秋田工業高等学校

# 同窓会総会

《日 時》 令和5年5月27日（土）

役員会	午後3：00～
総 会	午後4：00～
懇親会・新会員歓迎会	午後5：00～

《会 場》 秋田キャッスルホテル 秋田市中通1-3-5（TEL：018-834-1141）

## 【 次 第 】

- 1 開会のことば
- 2 黙 禱
- 3 校 歌 斉 唱
- 4 会長あいさつ
- 5 校長あいさつ
- 6 議 長 選 出
- 7 議 事



議案第1号 令和4年度事業報告及び会計決算報告並びに  
会計監査報告について

議案第2号 令和5年度事業計画(案)及び会計予算(案)について

議案第3号 役員改選について

議案第4号 その他

- 8 報 告 事 項
- 9 閉会のことば

# 秋田工業高校校歌

相馬 御風 作詞  
宮原 禎次 作曲

一、太平山の凛たる雄姿

清<sup>せい</sup>河<sup>が</sup>旭<sup>あさ</sup>川<sup>ひ</sup>の淀<sup>よど</sup>まぬ心

勤<sup>きん</sup>勞<sup>ろう</sup>の精<sup>しつ</sup>質<sup>じつ</sup>実<sup>じつ</sup>の徳<sup>とく</sup>

金<sup>かな</sup>砂<sup>さ</sup>健<sup>けん</sup>児<sup>じ</sup>の指<sup>さ</sup>さす所<sup>ところ</sup>

希<sup>て</sup>望<sup>て</sup>の光<sup>て</sup>世界<sup>て</sup>を輝<sup>て</sup>らす

二、物皆凍る寒風おろし

身<sup>えん</sup>を焼<sup>しよ</sup>く炎<sup>えん</sup>暑<sup>しよ</sup>何かはあらん

剛<sup>ごう</sup>健<sup>けん</sup>の意<sup>い</sup>気<sup>き</sup>不<sup>ふ</sup>断<sup>たん</sup>の努<sup>ど</sup>力<sup>りき</sup>

金<sup>い</sup>砂<sup>き</sup>健<sup>き</sup>児<sup>お</sup>の勢<sup>い</sup>力<sup>き</sup>見<sup>お</sup>よと

黒<sup>こく</sup>煙<sup>えん</sup>日<sup>ひ</sup>毎<sup>ごと</sup>天<sup>てん</sup>へと冲<sup>ちゆう</sup>す

三、進みて止まぬ科学の力

わが身<sup>たい</sup>に休<sup>たい</sup>し工<sup>こう</sup>業<sup>ぎやう</sup>界<sup>かい</sup>の

未<sup>み</sup>来<sup>らい</sup>の使<sup>し</sup>命<sup>めい</sup>肩<sup>かた</sup>にぞ担<sup>にな</sup>ふ

金<sup>み</sup>砂<sup>く</sup>健<sup>く</sup>児<sup>に</sup>が御<sup>み</sup>国<sup>くに</sup>に誓<sup>ちか</sup>ふ

忠<sup>い</sup>誠<sup>のち</sup>これぞ不<sup>ふ</sup>滅<sup>めつ</sup>の命<sup>いのち</sup>

議案第1号の1

令和4年度  
秋工同窓会本部事業一覧

	期 日	事 業 名	場 所
1	4月 2日(土)	第1回企画委員会	同窓会館
2	5月28日(土)	令和4年度年役員会・総会	母校金砂ホール
3	7月14日(木)	第1回広報委員会	同窓会館
4	8月25日(木)	第2回広報委員会	同窓会館
5	9月28日(水)	第3回広報委員会	同窓会館
6	10月19日(水)	第4回広報委員会	同窓会館
7	11月 9日(水)	第5回広報委員会	同窓会館
8	11月24日(木)	同窓会誌第57号発行	同窓会事務局
9	3月 1日(水)	同窓会入会式	母校体育館

※ 同窓会長賞 技術・技能の分野で特に優れた卒業生  
令和4年度同窓会長賞受賞者一覧

機械科B組	武 田 璃乃杏
電気I科	沼 田 蓮
土木科	佐 藤 快 晴
建築科	
工業化学科	渡 邊 葉 子

秋工同窓会支部・部会総会開催一覧

	期 日	支部・部会名	場所	会場	出席者
1	7月 3日(日)	東京秋工会総会	東京都	アカデ`イ市ヶ谷	工藤会長
2	11月10日(木)	静岡支部総会	三島市	四季酒菜：風土	
3	11月25日(金)	秋田市役所金砂会総会	秋田市	秋田キャッスルホテル	黒澤副会長

議案第1号の2

令和4年度 一般会計決算書

収入総額 7,242,555  
 支出総額 3,069,087  
 差引残高 4,173,468

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 入 金	1,000,000	0		1,000,000	
会 費	3,721,400	3,453,716		267,684	
1 在校生会費	1,121,400	1,117,200		4,200	年間1,800円×在籍数
2 同窓生会費	2,600,000	2,336,516		263,484	
繰 越 金	1,926,341	3,016,883	1,090,542		前年度繰越金
広 告 賛 助 金	0	698,673	698,673		
雑 収 入	259	73,283	73,024		寄付金、預金利息他
合 計	6,648,000	7,242,555	594,555		

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
会 議 費	300,000	18,648		281,352	
1 総 会 費	200,000	18,648		181,352	総会案内ハガキ代等
2 役員会議費	100,000	0		100,000	
事 務 費	1,636,000	965,952		670,048	
1 事務手当	1,176,000	668,000		508,000	事務員手当等
2 事務諸費	50,000	0		50,000	事務用備品等(ラ後援会共通費)
3 印刷費	30,000	0		30,000	
4 通信費	200,000	254,316	54,316		電話・FAX・郵送代・サーバー代
5 旅 費	100,000	25,400		74,600	東京秋工会総会旅費
6 光熱費	50,000	0		50,000	
7 消耗品費	30,000	18,236		11,764	事務局用消耗品
事 業 費	3,450,000	1,901,457		1,548,543	
1 会報発行費	3,000,000	1,716,357		1,283,643	会報印刷代、封筒代
2 慶弔費	100,000	0		100,000	
3 支部祝金	100,000	30,000		70,000	東京秋工会他
4 新会員歓迎費	100,000	108,900	8,900		新会員への会員章代
5 褒賞費	100,000	46,200		53,800	同窓会長賞
6 同窓会ブース準備費	50,000	0		50,000	
雑 費	162,000	183,030	21,030		高校野球協賛広告代等
退職金積立金	100,000	0		100,000	
特別会計繰入金	1,000,000	0		1,000,000	
合 計	6,648,000	3,069,087		3,578,913	

議案第1号の3

令和4年度 特別会計決算書

収入総額 3,048,737  
 支出総額 0  
 差引残高 3,048,737

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減		摘要
			増	減	
繰越金	3,048,688	3,048,712	24		
収入	1,000,000	0		1,000,000	
1繰入金	1,000,000	0		1,000,000	
雑収入	12	25	13		預金利息
合計	4,048,700	3,048,737		999,963	

支出の部

科目	予算額	決算額	比較増減		摘要
			増	減	
雑費	0	0			
繰出金	1,000,000	0			
合計	1,000,000	0			

令和4年度 退職金積立金決算書

収入総額 159,812  
 支出総額 0  
 差引残高 159,812

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減		摘要
			増	減	
繰越金	159,812	159,812			
積立金	100,000	0		100,000	
雑収入	88	0		88	
合計	259,900	159,812		100,088	

支出の部

科目	予算額	決算額	比較増減		摘要
			増	減	
退職金	0	0			
合計	0	0			

## 監 査 報 告 書

令和4年度 秋田県立秋田工業高等学校同窓会の一般会計および特別会計、退職金積立について、決算書にもとづき帳簿および証拠書類を精査いたしましたところ、収入支出ともに正確かつ適正に処理されていることを認めます。

令和 5年 4月 10日

秋田県立秋田工業高等学校同窓会

会 長 工 藤 嘉 範 様

監 事 田 仲 雅 美 

## 議案第2号の1

### 令和5年度 事業計画(案)

#### <重点努力目標>

- 1 同窓会本部だけでなく、各支部の同窓会活動についてもホームページを活用し周知する。
- 2 同窓会事業への意見を会員から積極的に募ると共に、同窓会年会費納入者数として、2000人を目標とする。

#### <具体的取り組み事項>

- 1 各委員会(企画・財政・広報)間の連携と協力を密にし、活動を推進する。
- 2 役員(常任幹事・幹事)及び企業支部を含んだ各支部・OB会について情報収集に努め、今後の継続的な活動ができるよう協力する。
- 3 本部の活動だけでなく、各支部からの情報や同窓生からの寄稿等をホームページに随時掲載し、最新の同窓会活動について広報する。
- 4 同窓会誌の発行を11月に発行する。
- 5 同窓会員の個人情報管理に努める。
- 6 全国大会出場を果たした母校の部活動を支援する。

#### <行事予定>

期 日	内 容	場 所	備 考
4月10日(月)	第1回企画委員会	同窓会館	
4月26日(水)	第2回企画委員会、当番幹事会	同窓会館	
5月10日(水)	会長副会長会議	駅前「あっちゃん」	
5月27日(土)	役員会、年次総会、新会員歓迎会	秋田キャッスルホテル	
11月 下旬	同窓会誌第58号発行		
3月 1日(金)	新会員入会式	母校体育館	

### 秋工同窓会支部・部会総会開催予定一覧

5月10日現在で事務局へ届け出あった支部、部会

	期 日	支部・部会名	場所	会場
1	6月10日(土)	東海支部総会	名古屋市	サイプレスホテル名古屋駅前
2	6月11日(日)	関西支部総会		
3	6月12日(月)	金砂クラブ4部会	秋田市	イヤタカ

議案第2号の2

令和5年度 一般会計予算書(案)

収入総額	7,668,000
支出総額	7,668,000
差引残高	0

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	昨年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	4,173,468	1,926,341	2,247,127		前年度繰越金
会 費	2,400,000	3,721,400		1,321,400	
1 在校生会費	0	1,121,400		1,121,400	
2 同窓生会費	2,400,000	2,600,000		200,000	2,000円×1,200人
同 窓 会 入 会 金	374,400	0	374,400		年間1,800円×208名(卒業予定者数)
繰 入 金	0	1,000,000		1,000,000	特別会計より
広 告 賛 助 金	600,000	0	600,000		
共 通 経 費 後 援 会 負 担	120,000	0	120,000		通信費、事務諸費等
雑 収 入	132	259		127	バッチ売上、預金利息等
合 計	7,668,000	6,648,000	1,020,000		

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	昨年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
会 議 費	400,000	300,000	100,000		
1 総 会 費	300,000	200,000	100,000		会場費、新聞広告代等
2 役員会議費	100,000	100,000			会議補助
事 務 費	1,896,000	1,636,000	260,000		
1 事務手当	1,176,000	1,176,000			事務員手当等
2 事務諸費	100,000	50,000	50,000		事務用備品等
3 印刷費	50,000	30,000	20,000		インクカートリッジ代等
4 通信費	300,000	200,000	100,000		電話・FAX・郵送代
5 旅 費	200,000	100,000	100,000		支部総会出席
6 光熱費	30,000	50,000		20,000	灯油・ガス代等
7 消耗品費	40,000	30,000	10,000		事務局消耗品等
事 業 費	3,970,000	3,450,000	520,000		
1 会報発行費	3,500,000	3,000,000	500,000		印刷代、振込用紙、送料等
2 慶弔費	100,000	100,000			
3 支部祝金	100,000	100,000			
4 新会員歓迎費	120,000	100,000	20,000		新入会員会員章
5 褒賞費	100,000	100,000			同窓会長賞
6 同窓会ブース準備費	50,000	50,000			秋工祭(同窓会の館運営費)
雑 費	202,000	162,000	40,000		
退職金積み立て	200,000	100,000	100,000		
特別会計繰出金	1,000,000	1,000,000			
合 計	7,668,000	6,648,000	1,020,000		



議案第2号の3

令和5年度 特別会計予算書(案)

1 基本積立金

収入総額	4,048,800
支出総額	0
差引残高	4,048,800

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	昨年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	3,048,737	3,048,688	49		
収 入	1,000,000	1,000,000			
1 繰 入 金	1,000,000	1,000,000			一般会計より
雑 収 入	63	12	51		預金利息等
合 計	4,048,800	4,048,700	100		

支出の部

科 目	予 算 額	昨年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
雑 費	0	0			
繰 出 金	0	1,000,000		1,000,000	一般会計へ
合 計	0	1,000,000		1,000,000	

令和5年度 退職金積立金予算書(案)

1. 基本積立金

収入総額	359,900
支出総額	0
差引残高	359,900

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	159,812	159,812			
積 立 金	200,000	100,000	100,000		一般会計より
雑 収 入	88	88			預金利息
合 計	359,900	259,900	100,000		

支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
退 職 金	0	0			
合 計	0	0			

議案第3号 役員改選について

【現役員】任期R3/5～R5/5

【新役員】(案)任期R5/5～R7/5

役 職	氏 名	備 考
会 長	工藤 嘉範(51C)	
副会長	池田 昌憲(47A)	企画担当
副会長	徳光 富久(47A)	広報担当
副会長	桑原 栄治(50E)	財政担当
副会長	伊藤 満(54C)	財政担当
副会長 (ポブラ会)	土田久美子(40A)	企画担当
副会長 (ROB会)	黒澤 光弘(55M)	広報担当
監 事	三浦 清一(41M)	
監 事	田仲 雅美(45A)	

役 職	氏 名	備 考
会 長	工藤 嘉範(51C)	
副会長	池田 昌憲(47A)	
副会長	徳光 富久(47A)	
副会長	桑原 栄治(50E)	
副会長	伊藤 満(54C)	
※副会長	太田 博之(56K)	
副会長 (ポブラ会)	土田久美子(40A)	
副会長 (ROB会)	黒澤 光弘(55M)	
監 事	田仲 雅美(45A)	
※監 事	石郷岡 誠(56M)	

※は新規役員

# 応援歌

## 副歌

- 一、天地の精気金砂がに  
こもりてここに八十年  
その春秋に磨き来し  
各校の数は多けれど  
ことに優れし秋工の  
誉は世々に<sup>よよ</sup>尽きざらん
- 二、天地の精気金砂がに  
こもりてここに八十年  
その春秋に鍛へ来し  
秋工の健児の意気高し  
いざや立ていざ奮へ  
ああ必勝の時ぞ今

## 必勝の歌

- 一、赤き血潮の<sup>ますらお</sup>丈夫よ  
鍛へ鍛へしその腕を  
今ぞ現す時は来ぬ  
奮え鍛えしその腕を  
松の緑は尽きるとも  
選手の栄誉は尽きざらん
- 二、赤き血潮の丈夫よ  
鍛へし強き腕もて  
期せ必勝の光栄を  
汚すな金砂が健児の名  
世も<sup>あめつち</sup>天地も尽きるとも  
選手の栄誉は尽きざらん

## 秋工健児

- 一、我が頼もしき選手等よ  
清き誇りを胸にこめ  
骨肉飛散の奮闘に  
栄えある園の花となれ
- 二、空を彩るコバルトの  
秋工健児の応援旗  
熱声あふれる声援に  
いざ立て秋工のチャンピオン

## 出陣の歌

- 一、時は来たれり我が選手  
奮へ戦へ倒るまで  
赤き心の熱血を  
手形が原に流すまで
- 二、栄ある友よ我が選手  
感謝に燃ゆる心もて  
炎と赤き真心の  
紅蓮の色を糧として<sup>ぐれん かけて</sup>

## 金砂健児

- 一、風<sup>しょうじょう</sup> 瀟々と雲を呼ぶ  
大平下る<sup>りょうふう</sup> 涼風に  
金砂が原頭只中に  
我等が健児のその勲
- 二、姿も雄々しき太平を  
朝な夕なに仰ぎみて  
鍛へし我等が健男児  
戦ふ時ぞ今来る

## 中春の光

- 一、中春の光空に満つ  
春たけなわの金砂がに  
いざ立て健児秋工の  
日頃の腕を試してみん
- 二、幾日ここに鍛へたる  
双<sup>もろ</sup>の腕に満ち<sup>み</sup>充てる  
力試さん時ぞ今  
征け征け勝利の峰高く

## 秋工音頭

- 一、山は太平流れは旭  
丘の緑がにっこり笑う  
風はそよ風桜も咲いて  
八十余年を語り合う  
ホンに秋工はよい所  
ソレよい所
- 二、強い体で心はやさし  
話しかければにっこり笑う  
意気は剛健努力は不断  
一千二百が肩を組む  
ホンに秋工はよい所  
ソレよい所
- 三、進む料学へ輝く瞳  
望み大きくにっこり笑う  
金砂健児は技術に生きて  
先輩二万ぼくといる  
ホンに秋工はよい所  
ソレよい所

## 金砂行進曲

- 一、太平の空<sup>こむらさき</sup> 濃紫  
望みは清し旭川  
此金砂がに宿りして  
八十余年の春と秋  
栄えある歴史思ふ時  
胸に血潮の波おどる
- 二、集へる健児幾千の  
心は一つ諸共に  
花なり実なり工業の  
基<sup>もとみ</sup>を養い磨くなり  
鍛え上げたる腕は  
世の濁流も物ならず

## ラグビーの歌

- 白<sup>はくが</sup>凱<sup>がい</sup> 々の雪にて  
球蹴れば<sup>ぎんかい</sup> 銀塊 飛ぶ
- 紫<sup>たけき</sup>白<sup>しるし</sup>の 猛<sup>ま</sup>き 徴<sup>し</sup> には  
世助の誉高し
- 勇めよ我友よ  
いざ征けいざ征けよ  
正義の小旗なびき  
自助<sup>じじよ</sup>の剣輝く

トララ秋工秋工トララトララ  
トララ秋工秋工トララララ

## 凱 歌

- 戦雲すでにおさまりて  
敵軍今や影いづこ  
見よ<sup>さんぜん</sup> 燦然と輝ける  
我等が秋工の旗の色

秋田県立秋田工業高等学校  
同 窓 会 会 則

昭和36年6月改定  
昭和44年6月改定  
昭和48年6月改定  
昭和59年5月改定  
昭和62年5月改定  
平成15年6月改定  
平成16年5月改定  
平成21年5月改正  
平成23年5月改正  
平成29年5月改定

【総 則】

第1条(名 称)

本会を秋田県立秋田工業高等学校同窓会と称する。

第2条(目 的)

本会は会員相互の親睦を図り鉱工業諸般の問題を考究し、併せて母校を後援することを目的とする。

第3条(事 業)

本会は前条の目的を達成するため、機関誌の発行など必要な事業を行う。

第4条(所在地及び事務局)

本会の所在地及び事務局を秋田県秋田市金砂町3-1に置く。

第5条(会 員)

本会会員は次の正会員と賛助会員で構成する。

- 一. 正 会 員 本校卒業生並びに修了生。
- 二. 賛助会員 本校の職員及び本会の趣旨に賛同し会長の推薦した者。

【役 員】

第6条(構 成)

本会は次の役員を置く。

- |                |               |             |
|----------------|---------------|-------------|
| 一. 名誉会長 1名     | 二. 顧問・相談役 若干名 | 三. 会 長 1名   |
| 四. 副会長 若干名     | 五. 幹事長 1名     | 六. 副幹事長 若干名 |
| 七. 常任幹事、幹事 若干名 | 八. 監 事 2名     |             |

第7条(名誉会長)

秋田県立秋田工業高等学校長を名誉会長としてお迎えする。

第8条(顧問・相談役)

顧問・相談役は会長が会員の中から選出し、委嘱することができる。

第9条(任 期)

役員は任期は2年とする。但し再任を妨げない。

第10条(選 出)

役員は会員の中から選出し、総会の承認を得るものとする。

第11条(任 務)

- ①会長は会務を統轄し、本会を代表する。
- ②副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。
- ③幹事長は本会の会務実行を統轄する。
- ④副幹事長は幹事長を補佐し、必要あるときはその代行をする。
- ⑤常任幹事、幹事は本会の会務を分掌する。
- ⑥監事は会計事務等を監査する。

第12条(事務局)

- ①本会の庶務、会計は同窓会係職員で構成する事務局があたる。
- ②会長は事務員を委嘱する。

【会 議】

第13条(総 会)

- ①本会の通常総会は毎年5月に行う。必要に応じて臨時総会を開くことができる。
- ②総会は次の事項を議決する。
  - 一. 事業報告及び決算の承認
  - 二. 事業計画及び予算の承認
  - 三. 役員を選出
  - 四. 会則の改正
  - 五. その他必要と認められた事項

第14条(幹事会)

- 幹事会は必要に応じて会長が召集し、次の事項を協議する。
- 一. 総会に提出する案件
  - 二. その他会務に必要な事項

【組 織】

第15条(専門委員会)

本会に、企画、財政および広報を担当する委員会を置く。

①各委員会は、会長が委嘱する幹事若干名をもって構成する。

②委員長は委員の中より互選する。

③副会長はいずれかの委員会を担当し、指導及び助言を行う。

④各委員会は、必要に応じて委員長が召集しそれぞれの事項について審議し、随時会長に意見を具申する。ただし、必要により一部業務を執行する。

一、企画委員会…本会の企画、運営及び他の委員会に属さない事項に関すること。

二、財政委員会…本会運営のための財政全般に関すること。

三、広報委員会…「同窓会誌」の発行及び本会の運営上必要な広報に関すること。

第16条(支 部)

本会の支部に関する規程は別にこれを定める。

【会 計】

第17条(経 費)

本会の経費は、会費、入会金、寄付金およびその他の収入をもってこれに充てる。

一、本会の正会員は、毎年会費を納入し入会者は入会に際し入会金を納めるものとする。

二、会費は年額2,000円とする。在校生は入会金5,400円を卒業時まで納入する。

三、会費および入会金の改正は総会の承認を得るものとする。

但し、入会金については会長はあらかじめ学校長と協議しなければならない。

第18条(基 金)

①本会は基金を設けることができる。

②基金は一般会計の基金及び寄付金をもって積み立てする。

③本会の目的達成のため、基金の取りくずしが必要なときは総会の承認を得るものとする。

④基金の決算は監査を受け、監査結果を総会に報告し、承認を得るものとする。

第19条(会計年度)

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

【裁 決】

第20条(裁 決)

会議の議事は出席会員の多数決によるものとする。

但し、会則の改正は出席会員の三分の二以上の賛成者を要する。

第21条(褒 賞)

同窓会及び学校発展のため特に功績のあった者については、褒賞することが出来る。

付則 この会則は、平成29年5月20日から施行する。

## 秋田工業高校同窓会支部設置規程

(規程理由)

第1条 会則第16条により、支部設置規程を定める。

(組織対象)

第2条 支部組織は、その組織対象を明確にするとともに、会則第5条に定める会員をもって組織する。

(目 的)

第3条 本部との連携を密にし、会員の親睦と情報交流を図ることおよび支部独自の事業を行うことを目的とする。

(登 録)

第4条 支部を設置するときは、代表者署名の申請文書に支部規程、役員名簿および会員名簿を添えて本部へ登録し、承認を得るものとする。

(運営費用)

第5条 支部運営費用は、原則として支部会費で賄うものとする。

(分割・合併)

第6条 支部が分割または合併をするときは、その理由を明記した支部長署名の文書を本部へ提出し、承認を得るものとする。

(改 廃)

第7条 本規程の改廃は、会則第20条に準ずる。

付則 この規程は、平成23年5月28日から施行する。